

第 256 回価格審査委員会議事要旨

開催日時、場所	2025 年 2 月 17 日（月）午後 3 時 00 分～4 時 32 分 経済調査会会議室
出席委員	加藤佳孝、久後翔太郎、小路直彦、野口貴文（委員長）（五十音順）

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果																								
<p>1. 前回議事概要の確認</p> <p>2. 「積算資料」3 月号土木系資材の価格変動の妥当性について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回議事概要案が承認された。 ・ 審査対象資材のうち、3 月号で掲載価格に変動が生じる土木系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; width: 30%;"><品目></th> <th style="text-align: center; width: 20%;">【地区】</th> <th style="text-align: center; width: 50%;">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">【上伸した資材】</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td style="text-align: center;">新潟</td> <td>製造コスト増加を理由に昨年 4 月より打ち出した値上げの未達分について、組合は交渉を継続。原材料コストのさらなる増加を受け、一部非組合員も値上げに追随し、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td style="text-align: center;">岐阜</td> <td>製造コスト増加を理由に組合は昨年 10 月より値上げを打ち出す。採算重視の姿勢で足並みをそろえて交渉を進め、需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td style="text-align: center;">静岡</td> <td>製造コスト、輸送コスト増加を理由に組合は昨年 10 月より値上げを打ち出す。域内に有力な非組合員工場がなく、隣接地区からの流入もない中、値上げが浸透し、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td style="text-align: center;">広島</td> <td>出荷量減少、製造コスト増加を理由に組合は昨年 10 月より値上げを打ち出す。域内に非組合員工場はなく、年明け以降、新価格が徐々に浸透し、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>コンクリート用砂 (荒目) (細目)</td> <td style="text-align: center;">岐阜</td> <td>製造コスト、運搬コスト増加を理由に骨材販売協組は昨年 4 月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、生コン市況が上昇した主需要者である生コン工場が受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>コンクリート用砕石 クラッシュラン 再生クラッシュラン</td> <td style="text-align: center;">盛岡</td> <td>燃料油高騰による重機や運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年 7 月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、採算悪化に危機感を強めるメーカーが売り腰を強め、市況上伸。</td> </tr> </tbody> </table>	<品目>	【地区】	(理由)	【上伸した資材】			生コンクリート	新潟	製造コスト増加を理由に昨年 4 月より打ち出した値上げの未達分について、組合は交渉を継続。原材料コストのさらなる増加を受け、一部非組合員も値上げに追随し、市況上伸。	生コンクリート	岐阜	製造コスト増加を理由に組合は昨年 10 月より値上げを打ち出す。採算重視の姿勢で足並みをそろえて交渉を進め、需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。	生コンクリート	静岡	製造コスト、輸送コスト増加を理由に組合は昨年 10 月より値上げを打ち出す。域内に有力な非組合員工場がなく、隣接地区からの流入もない中、値上げが浸透し、市況上伸。	生コンクリート	広島	出荷量減少、製造コスト増加を理由に組合は昨年 10 月より値上げを打ち出す。域内に非組合員工場はなく、年明け以降、新価格が徐々に浸透し、市況上伸。	コンクリート用砂 (荒目) (細目)	岐阜	製造コスト、運搬コスト増加を理由に骨材販売協組は昨年 4 月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、生コン市況が上昇した主需要者である生コン工場が受け入れ、市況上伸。	コンクリート用砕石 クラッシュラン 再生クラッシュラン	盛岡	燃料油高騰による重機や運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年 7 月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、採算悪化に危機感を強めるメーカーが売り腰を強め、市況上伸。
<品目>	【地区】	(理由)																							
【上伸した資材】																									
生コンクリート	新潟	製造コスト増加を理由に昨年 4 月より打ち出した値上げの未達分について、組合は交渉を継続。原材料コストのさらなる増加を受け、一部非組合員も値上げに追随し、市況上伸。																							
生コンクリート	岐阜	製造コスト増加を理由に組合は昨年 10 月より値上げを打ち出す。採算重視の姿勢で足並みをそろえて交渉を進め、需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。																							
生コンクリート	静岡	製造コスト、輸送コスト増加を理由に組合は昨年 10 月より値上げを打ち出す。域内に有力な非組合員工場がなく、隣接地区からの流入もない中、値上げが浸透し、市況上伸。																							
生コンクリート	広島	出荷量減少、製造コスト増加を理由に組合は昨年 10 月より値上げを打ち出す。域内に非組合員工場はなく、年明け以降、新価格が徐々に浸透し、市況上伸。																							
コンクリート用砂 (荒目) (細目)	岐阜	製造コスト、運搬コスト増加を理由に骨材販売協組は昨年 4 月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、生コン市況が上昇した主需要者である生コン工場が受け入れ、市況上伸。																							
コンクリート用砕石 クラッシュラン 再生クラッシュラン	盛岡	燃料油高騰による重機や運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年 7 月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、採算悪化に危機感を強めるメーカーが売り腰を強め、市況上伸。																							

審議事項及び委員意見・質問			経済調査会説明・審議結果
	コンクリート用砕石 クラッシュラン	佐賀	需要減少、製造コスト増加等を理由に昨年4月より打ち出した値上げの未達分について、メーカーは交渉を継続。採算悪化に危機感を強めるメーカーが足並みをそろえて売り腰を強め、市況上伸。
	クラッシュラン	富山	運搬費や採取地開発費用などのコスト増加を理由に昨年4月より打ち出した値上げの未達分について、メーカーは交渉を継続。供給量が減少する中、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
	再生クラッシュラン	富山	製造コスト、運搬コスト増加を理由に一昨年4月より打ち出した値上げの未達分について、中間処理業者等は交渉を継続。運搬コストのさらなる増加から下値が切り上がり、市況上伸。
	軽油	全国	国内需要の減少傾向が続く中、政府補助金が段階的に縮小された影響で仕入価格が値上がりした販売業者は価格転嫁を進め、市況上伸。
	再生加熱アスファルト混合物	岐阜	原材料、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年4月より値上げを打ち出す。需要が減少する中、採算悪化に危機感を強めるメーカーが売り腰を強め、市況上伸。
	ストレートアスファルト	全国（那覇除く）	ストアス価格算定期間内の元売原油調達コストは上昇し、元売会社は卸価格を引き上げた。ディーラーは道路舗装会社との価格改定交渉において卸価格の上昇額を転嫁し、市況上伸。
	鉄筋コンクリートU形	水戸、宇都宮、富山、甲府	製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年4月以降、値上げを打ち出す。需要が減少する中、採算悪化に危機感を強めるメーカーが売り腰を強め、市況上伸。
	鉄筋コンクリートU形 ベンチフリューム	前橋	原材料、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年4月より値上げを打ち出す。今年度下期以降、新規工事の発注に合わせて売り腰を強め、市況上伸。

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果	
	鉄筋コンクリートU形 自由勾配側溝 RCボックスカルバート	長野 製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年4月より値上げを打ち出す。今年度下期以降、新規工事の発注に合わせて売り腰を強め、市況上伸。
	自由勾配側溝	名古屋、津 原材料、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年4月より値上げを打ち出す。供給メーカーが限られる中、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
	RCボックスカルバート	福岡 製造コスト増加を理由にボックスカルバート協組は昨年4月より値上げを打ち出す。非組合員も値上げに追随し、値上げの一部が浸透して、市況上伸。
	ベンチフリューム	さいたま 原材料、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年4月より値上げを打ち出す。今年度下期以降、新規工事の発注に合わせて売り腰を強め、市況上伸。
	インターロッキングブロック	関東 原材料、運搬コスト増加を理由にメーカーは値上げを打ち出す。新規工事の発注が進むにつれ価格交渉が進展して、需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
	コンクリート積みブロック	千葉 原材料コスト増加を理由に1社のみとなったメーカーが昨年4月より値上げを打ち出す。今年度下期以降、徐々に値上げが浸透し、市況上伸。
	コンクリート積みブロック	東京、横浜 原材料コスト増加を理由に1社のみとなったメーカーが昨年4月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、運搬コストの増加で採算悪化に危機感を強めるメーカーが売り腰を強め、市況上伸。
	ネットフェンス	全国 製造コスト、運搬コスト増加を理由に最大シェアのメーカーは昨年4月より値上げを打ち出す。今年度下期以降、他社も値上げに追随し、徐々に値上げが浸透して、市況上伸。

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果	
<p>○コンクリート積みブロックについて、今回、青森地区で流通が確認できなくなったとのことだが、他の規格は流通があるのか。地区により需要が異なるのか。</p> <p>○ネットフェンスのヒアリング調査で、販売相手による販売価格帯の幅が小さいように感じるが、この資材特有の状況か。</p> <p>3. 「積算資料」3月号建築系資材の価格変動の妥当性について</p> <p>○電線・ケーブルのヒアリング調査で、価格よりも納期優先で交渉しているという話があったが、人手不足や工事費高騰で工事着工の延期等が目立つ中、在庫に余裕はないのか。</p> <p>4. その他 (1) 次回開催予定</p>	<p>【下落した資材】</p> <p>異形棒鋼 福井、近畿</p> <p>H形鋼 全国（札幌除く）</p> <p>鉄スクラップ 仙台、東京、新潟、金沢、長野、名古屋、大阪、広島、高松</p>	<p>メーカーは製造コスト増加等を理由に製品価格の底上げを図っているが、需要が精彩を欠く中、価格交渉は綱引き局面の様相。近畿地区は先月の東日本の下落が遅れて波及して、市況下落。</p> <p>大型物件の計画縮小や見直しが散見される中、中小物件も引き合いは弱く、荷動きは依然低調。流通業者は仕入れを減らし在庫抑制に努めているが、数量指向の販売姿勢が広がり、市況下落。</p> <p>国内の発生量は依然低調だが、鉄鋼需要低迷による電炉メーカーの減産により需給は緩和。電炉メーカーは購入価格を引き下げ、問屋筋も追随し、市況下落。</p> <p>・青森地区ではメーカーは1社あるが、需要が少ないため現在の在庫がなくなり次第、受注生産による都度見積りに切り替えることになり、一般的な流通価格の把握が困難になったため、価格の掲載を取りやめた。人手不足や施工性などから、全国的に大型ブロックに需要が移っており、コンクリート積みブロックは、災害復旧工事や狭隘部など施工場所が限られてきているため、製造を中止するメーカーが増えている。</p> <p>・ネットフェンスに関しては、以前よりも販売価格帯の幅は小さくなっているようである。また、販売価格の差については、購入数量の多寡もあるが、購入側の与信面も影響していると聞いている。</p> <p>・審査対象資材のうち、3月号で掲載価格に変動が生じる建築系資材、都市はなかった。</p> <p>・電線・ケーブルは、一昨年10月にメーカーの生産が限界に達し、数カ月間新規受注を停止した。昨年3月以降、新規受注を再開したが、仮需も含め注文が集中し、需給のひっ迫が起きて納期が長期化した。現在は一時よりは緩和したものの、銅価が高止まりする中でメーカーは生産しており、在庫が潤沢なわけではなく、電線・ケーブルに関しては、需要者は納期を優先して値下げ要求は以前より弱まっていると聞いている。</p> <p>・2025年3月17日（月）15時～17時と決定。</p> <p style="text-align: right;">(以 上)</p>

価格審査委員会規約

(目的)

第 1 条 一般財団法人 経済調査会が実施する資材価格及び工事費(以下「資材価格等」という。)の調査結果について、その妥当性を高め調査の信頼性を向上させることを目的として、第三者による価格審査委員会(以下「委員会」という。)を設置するものとする。

(委員会の事務)

第 2 条 委員会は、代表理事の委嘱に基づき、次の事務を行う。

- 一 資材価格等(定期刊行物に掲載するものに限る。以下同じ。)の調査結果の妥当性について審査すること。審査は公共工事において重要度の高い品目、工事費を選定して行うものとする。
- 二 その他資材価格等の調査に関して必要と認められる事項について審議すること。

(委員会の委員及び任期)

第 3 条 委員は公正中立の立場で審査を適切に行うことのできる学識経験等を有する者のうちから、代表理事が委嘱する。

- 2 委員会は、委員 8 人以内で組織する。
- 3 委員の任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。また、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、非常勤とする。

(委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選任する。

- 2 委員長は、委員会を代表する。
- 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

(委員会の開催)

第 5 条 委員会は、委員長が招集し、原則として毎月 1 回開催する。

(審査の報告・助言)

第 6 条 委員会は、第 2 条により審査の対象となった事項に関し、必要に応じて代表理事に対し審査結果の報告または助言を行う。

(意見等の聴取)

第 7 条 委員会は、第 2 条の事務を行うにあたり、必要に応じて委員以外の者から意見等を聴取することができる。

(秘密を守る義務)

第 8 条 委員は第 2 条の事務を処理する上で知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(事務局)

第 9 条 委員会の事務局は、一般財団法人 経済調査会 調査監理部審査室に置く。なお事務局は価格動向、価格変動理由等の資料を委員会に提出するものとする。

附則

この規約は、平成 15 年 11 月 13 日から施行する。

この規約は、平成 16 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 18 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 21 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 24 年 6 月 15 日から改定施行する。